

2024年度
垣ノ島遺跡 経過観察年次報告書

2026年3月
函館市

1 資産の顕著な普遍的価値と完全性・真実性に関する観察指標

項目	指標	測定内容・方法	備考
I. 顕著な普遍的価値を伝達する属性の保護・管理	I-1. 属性a) 自然資源を巧く利用した生活の在り方を示すこと	<ul style="list-style-type: none"> - 遺構・遺物の保存状態の把握・記録(Ⅱ-2~8,10~13,Ⅳ-1,Ⅴ-2) - 構成資産及び周辺の植生の状態とその管理状況の把握(Ⅱ-9,Ⅳ-2) - 構成資産から周辺への眺望の把握(Ⅱ-15,Ⅲ-1~5,Ⅳ-2) 	属性aに対する負の影響はみられない。
	I-2. 属性b) 祭祀・儀礼を通じた精緻で複雑な精神性を示すこと	<ul style="list-style-type: none"> - 遺構・遺物の保存状態の把握・記録(Ⅱ-2~8,10~13,Ⅳ-1,Ⅴ-2) - 構成資産から周辺への眺望の把握(Ⅱ-15,Ⅲ-1~5,Ⅳ-2) 	属性bに対する負の影響はみられない。
	I-3. 属性c) 集落の立地と生業との関係が多様であること	<ul style="list-style-type: none"> - 構成資産から周辺、構成資産周辺から構成資産への眺望の把握(Ⅱ-15,Ⅲ-1~5,Ⅳ-2) - 構成資産が立地する地形の崩壊、変形状況の把握・記録(Ⅱ-10,Ⅴ-2,Ⅵ-1~2) - 構成資産及び周辺の植生の状態とその管理状況の把握(Ⅱ-9,Ⅳ-2) - 構成資産周辺の景観阻害要因と景観の改善と変化の把握(Ⅱ-15,Ⅲ-1~5) 	属性cに対する負の影響はみられない。
	I-4. 属性d) 集落形態の変遷を示すこと	<ul style="list-style-type: none"> - 遺構・遺物の保存状態の把握・記録(Ⅱ-2~8,10~13,Ⅳ-1,Ⅴ-2) - 構成資産から周辺への眺望の把握(Ⅱ-15,Ⅲ-1~5,Ⅳ-2) - 被害等対策のための基礎情報の把握(Ⅱ-1~4,11,14,Ⅲ-4,Ⅳ-1,Ⅴ-1,Ⅵ-1,2) 	属性dに対する負の影響はみられない。

2 構成資産の保護・管理に関する観察

項目	指標		2023年度結果		2024年度結果		備考
II.資産の保全状況と保護・管理	II-2. 構成資産における現状変更件数	文化財保護法に基づく史跡の現状変更の許可申請・届出の件数及びその内容を把握する。	2件		0件		
	II-3. 構成資産におけるき損件数	文化財保護法に基づく史跡のき損届の件数及びその内容を把握する。	0件		0件		
	II-4. 遺産影響評価の実施件数	史跡整備、き損時の修復等に係る遺産影響評価の実施件数を把握する。	2件		0件		表1参照
	II-5. 構成資産の公有地化率	民有地の買い上げ実施状況を把握する。	100%		100%		
	II-6. 遺構の状況	遺構の状況について、観察、写真撮影等により記録する。	腐食・劣化なし		腐食・劣化なし		表2参照
	II-7. 気温、湿度、降水量の経年変化	大気の時常観察を行い、気温、湿度、降水量の変化を計測する。	年平均気温	12.5℃	年平均気温	12.8℃	
			湿度	62.42%	湿度	63.27%	
			年間降水量	1,373mm	年間降水量	1,226mm	
	II-8. 地下水位	低湿地における水量、水質の状況を観察する。	該当なし		該当なし		
	II-9. 植生の状況	構成資産内の植生の状況について観察、写真撮影等により測定する。	変化なし		変化なし		表3参照
	II-10. 災害後の被害状況把握	風水害、土砂災害、地震等による構成資産における被害状況を把握する。	被害なし		被害なし		
	II-11. 構成資産の保存活用協議会等の開催数	構成資産を所管する地方公共団体を中心とした史跡整備委員会、保存活用協議会等の開催数を把握する。	2回		2回		表4参照
	II-12. 資産の調査研究	資産に関わる調査研究の実施状況及びその内容、調査研究成果等を掲載した報告書等の発刊数を把握する。	1件		1件		表5参照
	II-13. 関連文化財の調査研究	構成資産に関連する文化財の調査研究の実施状況及びその内容、調査研究成果を掲載した報告書等の発刊数を把握する。	1件		0件		表6参照
	II-14. 調査研究体制の充実	構成資産の調査研究等を担う専門職員の数把握する。	2人		2人		
II-15. 不適格工作物の撤去等の状況	構成資産内に現存する不適格工作物の撤去等の状況を把握する。	該当なし		該当なし		表7参照	

3 構成資産及び緩衝地帯に影響を与える諸条件に関する観察指標

項目	指標		2023年度結果		2024年度結果		備考
III.開発圧力	III-1. 公共事業の発注件数	緩衝地帯の道路、河川、治山等の公共事業発注件数を把握する。	2件		3件		・臼尻漁港橋梁建設その他工事 1件 ・臼尻漁港臨港道路建設その他工事 1件 ・臼尻漁港臨港道路建設工事に伴う排水管移設工事 1件
	III-2. 民間の開発行為件数	緩衝地帯における開発許可申請や建築確認件数を把握する。	開発許可申請	5件	開発許可申請	8件	表8参照
			建築確認件数	0件	建築確認件数	0件	
	III-3. 景観条例に基づく届出件数	景観条例に基づく届出件数を把握する。	届出件数	1件	届出件数	0件	
			事前協議件数	1件	事前協議件数	0件	
III-4. 遺産影響評価の実施件数	開発行為等に係る遺産影響評価の実施件数を把握する。	4件		5件		表9参照	
III-5. 構成資産の内外からみた眺望の観測	視点場からみた眺望の定点観測により、視界に入り込む阻害要因を把握する。	変化なし		変化あり		表10参照	
IV.環境変化	IV-1. 大気汚染に係る環境基準達成状況（二酸化硫黄・二酸化窒素）	大気の常時監視を行い、大気中の二酸化硫黄・二酸化窒素含有量を測定する。	二酸化硫黄		二酸化硫黄		
			年平均値	0.001ppm	年平均値	0.001ppm	
			日平均値の年間2%除外値	0.002ppm	日平均値の年間2%除外値	0.001ppm	
			環境基準適否	適	環境基準適否	適	
			二酸化窒素		二酸化窒素		
			年平均値	0.01ppm	年平均値	0.010ppm	
			日平均値の年間98%値	0.027ppm	日平均値の年間98%値	0.022ppm	
	環境基準適否	適	環境基準適否	適			
IV-2. 植生の状況	構成資産周辺の植生の状況について観察、写真撮影等により記録する。	変化なし		変化なし		表11参照	

項目	指標		2023年度結果	2024年度結果	備考
V.自然災害	V-1. 災害発生情報の観測	気象・地震・津波・火山活動による災害発生情報を把握する。	0回	0回	
	V-2. 災害後の被害状況把握	風水害、土砂災害、地震等による構成資産周辺の被害状況を把握する。	被害なし	被害なし	
VI.観光圧力	VI-1. 来訪者数	構成資産への来訪者数を測定する。	構成資産への来訪者数	構成資産への来訪者数	表12参照
			34,063人	30,027人	
	ガイドンス施設への来訪者数	ガイドンス施設への来訪者数			
	31,551人	30,794人			
VI-2. 自動車数	構成資産の周辺地域における駐車場入込状況を測定する。	影響なし	影響なし	表13参照	
VI-3. 便益施設等の設置状況	構成資産における便益施設等の設置状況を把握する。	設置済	設置済	表14参照	

※ 資産や緩衝地帯に影響を与える可能性がある計画や大規模開発等

特になし。

4 顕著な普遍的価値の伝達に関する指標

項目	指標		2023年度結果	2024年度結果	備考
VII. 顕著な普遍的価値の伝達	VII-1. 資産に関する研修会等への参加者数	資産に関する研修会、セミナー等への参加者数を測定する。	4,072人	3,683人	表15参照
	VII-2. ガイダンス施設の設置状況	構成資産におけるガイダンス施設の設置状況を把握する。	設置済	設置済	函館市縄文文化交流センター(2011年10月1日)
	VII-3. パンフレットやホームページによる情報提供	刊行されているパンフレット等、地方公共団体共通のホームページにより、情報提供の回数・状況を把握する。	パンフレット等の発行回数	パンフレット等の発行回数	表16参照
			4回	8回	
			パンフレット等の発行部数	パンフレット等の発行部数	
			134,000部	27,000部	
			ホームページの更新回数	ホームページの更新回数	
			102回	98回	
ホームページのアクセス数	ホームページのアクセス数				
167,725回	116,949回				
VIII. 地域住民、民間団体の活動	VIII-1. 資産に関する地域住民、民間団体の活動	構成資産での地域住民、民間団体等の活動内容や参加人数等を測定する。	612人	447人	表17・18参照

※2024年度の特記事項

特になし。

表1 資産内における遺産影響評価の実施状況
【行為等の詳細分析の要否判断結果】

構成資産名	行為地	行為の概要	影響レベル	詳細分析の 要否	判断理由	記録作成機関
該当なし						

【詳細分析を実施した案件】

構成資産名	行為地	行為の概要	分析方法	分析結果	評価理由	記録作成機関
該当なし						

表2 遺構の状況

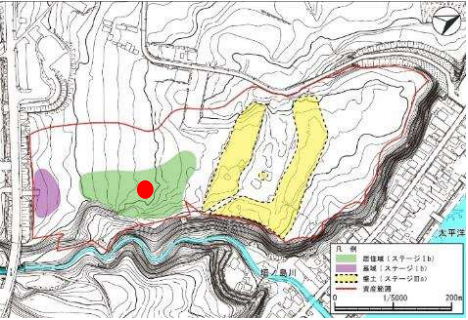


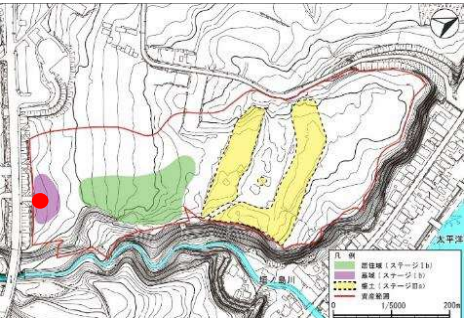


地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
OUV 居住域	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年9月15日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	地下遺構は良好に保全されている。
OUV 墓域	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年9月15日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	地下遺構は良好に保全されている。

表2 遺構の状況



地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
OUV 盛土	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年9月15日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	芝で養生され、盛り土遺構の形状が視認できる状態である。
堅穴建物 跡群	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年9月15日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	芝で養生され、くぼみにより地中の堅穴建物跡の位置とおおよその規模が視認できる状態である。

表2 遺構の状況

地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
盛り土遺構 (接合部)	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年9月15日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	芝で養生され、小丘部から接合部が視認できる状態である。
	(図面)	(写真) 撮影年月日→ 撮影	(写真) 撮影年月日→ 撮影	

表3 植生の状況(構成資産範囲)

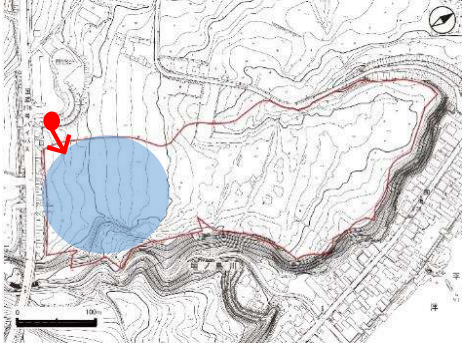


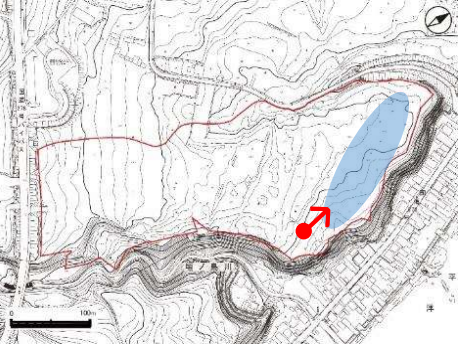


地点名	位置・方向	2023年度	2024年度	主な樹種、外来種等
No.1	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年9月15日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	主な樹種: 落葉広葉樹(クリ, オニグルミ, ヤマグルワ等) 外来種(ニセアカシア等) その他(オオイタドリ, クマザサ等)
No.2	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年9月15日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	主な樹種: 落葉広葉樹(クリ, オニグルミ, ヤマグルワ等) 外来種(ニセアカシア等) その他(オオイタドリ, クマザサ等)

表4 構成資産の保存活用協議会等の開催状況

【構成資産を主体とした協議会の開催状況】

名称	開催年月日	議事・報告事項	備考
函館市縄文遺跡群保存活用協議会	第1回 2024年11月26日	報告事項 ・2024年度縄文遺跡群の保存活用および普及啓発に関する取り組みについて ・世界遺産の保全に係る遺産影響評価実施報告(2024年度上半期) ・史跡大船遺跡の保存活用計画の策定について	
	第2回 2025年2月20日	報告事項 ・2024年度縄文遺跡群の保存活用および普及啓発に関する取り組みについて ・2025年度縄文関係事業計画内容(予定)について ・世界遺産の保全に係る遺産影響評価実施報告(2024年度下半期) ・史跡大船遺跡の保存活用計画の策定について	

【保存・活用に係る委員会の開催状況】

名称	開催年月日	議事・報告事項	備考
該当なし			

表5 資産の調査研究

【調査研究の実施状況】

調査研究の内容	実施主体	実施期間	概要	別添資料の有無	補助金等
「道南部および北東北における緑色岩製磨製石斧の製作技術と流通について」	函館市縄文文化交流センター (秋田県埋蔵文化財センター)	2024年9月～2025年3月	函館市域の縄文時代の遺跡を中心に、緑色岩製磨製石斧の特徴や利用状況について検討し、流通について明らかにした。	■ あり □ なし	なし

【調査研究成果等を掲載した報告書等】

名称	作成主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要	補助金等
該当なし						

表6 関連文化財の調査研究

名称	作成主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要	補助金等
該当なし						

表7 不適格工作物の撤去等の状況

不適格 工作物	位置	2023年度	2024年度	備考
該当なし	(図面)	(写真) 撮影年月日→ 撮影	(写真) 撮影年月日→ 撮影	
	(図面)	(写真) 撮影年月日→ 撮影	(写真) 撮影年月日→ 撮影	

表8 民間の開発行為件数

法令・制度等	条文	2023年度結果	2024年度結果	備考
文化財保護法	第93条	0件	0件	
	第125条	0件	0件	
都市計画法	第29条	0件	0件	
急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	第7条	0件	0件	
土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	第10条	0件	0件	
都市公園法（青森県都市公園条例）	第6条			
砂利採取法	第16条	0件	0件	
森林法	第10条の2	0件	0件	
	第10条の8			
	第34条1項			
	第34条2項			
	第34条の2			
河川法	第34条の3	0件	0件	
	第20条			
	第24条			
	第25条			
	第26条1項			
千歳市普通河川条例	第27条1項	0件	0件	
	第55条1項			
洞爺湖町普通河川管理条例	第5条			
弘前市法定外公共物管理条例	第4条			
函館市普通河川管理条例	第10条	0件	0件	
砂防法（砂防法施行条例：秋田県条例）	第4条			
農地振興地域の整備に関する法律	第15条の2			
	第15条の4			
農地法	第4条第1項			
	第5条第1項			
道路法	第24条	2件	4件	第32条
	第32条			
墓地、埋葬等に関する法律	第10条			
函館市墓地条例	第8条	3件	4件	
八戸市墓地、埋葬等に関する法律施行細則	第3条			
漁港漁場整備法	第39条	0件	0件	
北海道自然環境等保全条例	第30条	0件	0件	

表9 緩衝地帯及びその周辺における遺産影響評価の実施状況
 【開発行為等の詳細分析の要否判断結果】

構成資産名	行為地	開発等の概要	影響レベル	詳細分析の要否	判断理由	記録作成機関
垣ノ島遺跡	緩衝地帯	電柱等の新設および撤去工事①	レベル0	否	電柱等の新設において、掘削面積は電柱の直径約40cmと狭小であることから、地下への影響は軽微である。また、電柱等は視点場から視認できないため、眺望における影響は皆無である。	函館市教育委員会
垣ノ島遺跡	緩衝地帯	植樹(ヤマグリ20本)	レベル1	否	史跡の周縁部となる市道沿いに在来樹種を植樹することにより、資産内ならびに視点場からの景観の改善に寄与するものである。また、植樹区域は、過去に盛土造成および植生基盤造成を実施していることから、地下遺構への影響も軽微である。	函館市教育委員会
垣ノ島遺跡	緩衝地帯	電柱等の新設および撤去工事②	レベル0	否	電柱等の新設において、掘削面積は電柱の直径約40cmと狭小であることから、地下への影響は軽微である。また、電柱等は視点場から視認できないため、眺望における影響は皆無である。	函館市教育委員会
垣ノ島遺跡	緩衝地帯	支障木の伐採①	レベル1	否	針葉樹であるカラマツや外来種であるニセアカシアなど、縄文時代の景観にふさわしくない樹木を伐採することにより、視点場からの眺望の改善に寄与するものである。また、基本的に伐根は行わないため、地下遺構への影響は皆無である。	函館市教育委員会
垣ノ島遺跡	緩衝地帯	支障木の伐採②	レベル1	否	伐採範囲は視点場からほとんど視認できない。縄文時代の景観にふさわしくない針葉樹を伐採することにより、遺跡周辺の植生環境の改善に寄与するものである。また、基本的に伐根は行わないため、地下遺構への影響は皆無である。	函館市教育委員会

【詳細分析を実施した案件】

構成資産名	行為地	開発等の概要	分析方法	分析結果	評価理由	記録作成機関
該当なし						

表10 構成資産の内外からみた眺望の観測

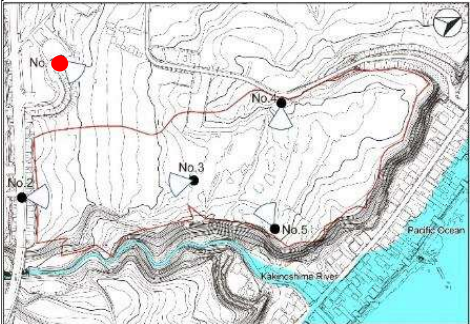


地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
視点場 No.1	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年9月15日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年3月31日 撮影	2024年度末に、視点場から見える針葉樹および外来種等を伐採したことで、景観に正の影響あり。 緩衝地帯内で施工中の臼尻漁港臨港道路については、景観保全を図ったルートと工法が採用されており、当該視点場からの視野には入らない。 緩衝地帯内に存在する電波塔については、変化なし。
視点場 No.2	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年9月15日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	緩衝地帯内で施工中の臼尻漁港臨港道路については、景観保全を図ったルートと工法が採用されており、当該視点場からの視野には入らない。 緩衝地帯内に存在する電波塔については、当該視点場からの視野には入らない。

表10 構成資産の内外からみた眺望の観測

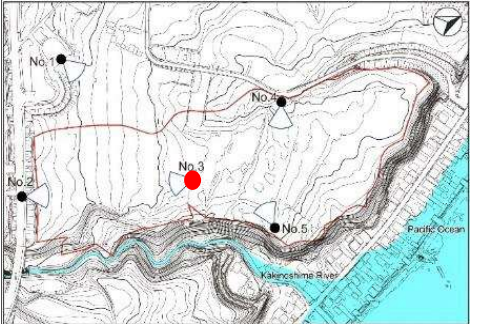


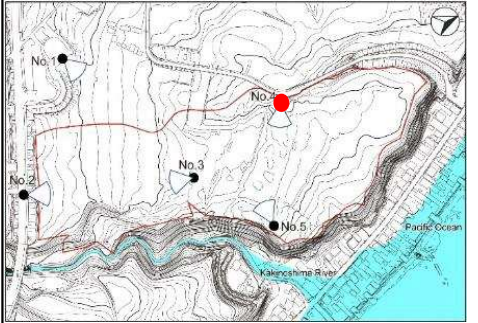


地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
<p>視点場 No.3</p>	<p>(図面)</p> 	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2023年9月15日 撮影</p>	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影</p>	<p>緩衝地帯内で施工中の白尻漁港臨港道路については、景観保全を図ったルートと工法が採用されており、当該視点場からの視野には入らない。緩衝地帯内に存在する電波塔については、変化なし。</p>
<p>視点場 No.4</p>	<p>(図面)</p> 	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2023年9月15日 撮影</p>	<p>(写真)</p>  <p>撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影</p>	<p>緩衝地帯内で施工中の白尻漁港臨港道路については、景観保全を図ったルートと工法が採用されており、当該視点場からの視野には入らない。緩衝地帯内に存在する電波塔については、変化なし。</p>

表10 構成資産の内外からみた眺望の観測

地点名	位置	2023年度	2024年度	備考
視点場 No.5	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年9月15日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	緩衝地帯内で施工中の白尻漁港臨港道路については、景観保全を図ったルートと工法が採用されており、当該視点場からの視野には入らない。緩衝地帯内に存在する電波塔については、変化なし。
	(図面)	(写真) 撮影年月日→ 撮影	(写真) 撮影年月日→ 撮影	

表11 植生の状況(構成資産周辺)

地点名	位置・方向	2023年度	2024年度	主な樹種、外来種等
No.1	(図面) 	(写真)  撮影年月日→ 2023年9月15日 撮影	(写真)  撮影年月日→ 2024年9月25日 撮影	主な樹種: 落葉広葉樹(クリ等) その他(アカザ, オオイタドリ等) 野生動物による食害は概ね認められない。
	(図面)	(写真) 撮影年月日→ 撮影	(写真) 撮影年月日→ 撮影	

表12 来訪者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
構成資産	2,517	4,031	3,500	3,452	4,620	3,826	4,228	1,609	455	424	428	937	30,027	2,502
ガイダンス施設	2,165	3,803	3,489	3,598	5,224	3,930	3,494	2,204	614	596	470	1,207	30,794	2,566

表13 自動車数

【構成資産(駐車可能台数:40台)】

(単位:日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
満車日数	2	4	0	1	6	1	2	3	0	0	0	0	19	2
臨時駐車場 開放日数	2	4	0	1	3	0	1	0	0	0	0	0	11	1

【ガイダンス施設(駐車可能台数:40台)】

(単位:日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月当たり平均
満車日数	2	4	0	1	6	1	2	3	0	0	0	0	19	2
臨時駐車場 開放日数	2	4	0	1	3	0	1	0	0	0	0	0	11	1

表14 便益施設等の設置状況

【便益施設等の設置状況】

	休憩室	トイレ	乳幼児施設	高齢者用施設	通信環境	その他
構成資産	あり	あり	あり	あり	あり	トイレ(バリアフリー対応), 車椅子貸出
ガイダンス施設	あり	あり	あり	あり	あり	トイレ(バリアフリー対応), 車椅子・ベビーカー貸出

【域内における誘導サインの設置状況】

構成資産	30箇所
------	------

表15 資産に関する研修会等の開催状況

名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
収蔵資料展「函館の円筒土器文化」	2024年4月1日～6月23日	市立函館博物館	—	函館市内から出土した縄文時代の円筒土器を中心とした展示。
郷土学習推進事業	2024年4月1日～2025年3月31日	函館市教育委員会	1528人	市内小学校の3年生を対象に、令和6年度郷土学習推進事業「縄文に触れる学習」として、遺跡の見学を実施。市内39校が参加。
はこだて健幸アプリ H a k o b i t (垣ノ島遺跡)	2024年4月1日～2025年3月31日	「はこだて市民健幸大学」実行委員会(事務局:函館市保健福祉部)	153人	「はこだて市民健幸大学」事業による、歩数や健康状態を記録する健康アプリH a k o b i tにおいて、垣ノ島遺跡を巡るコースを公開。
ゴールデンウィーク限定「しおりづくり」	2024年5月3日～5日	函館市縄文文化交流センター	90人	撚り合わせた縄を使って、オリジナルのしおりを製作。
縄文体験講座「縄文ドッキーづくり」	2024年5月11日	函館市縄文文化交流センター	7人	縄文土器に興味を持ってもらうため、南茅部地域の遺跡から出土した土器片に似せたクッキーを作る講座。
出前講座 世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」	2024年6月25日	函館市企画部	36人	市立函館高等学校での函館学講座として、文化財課の職員が講師として講演。講演後、生徒によるグループ討議や発表を実施。
縄文体験講座「縄文時代の漁労を学ぶ 鹿角釣り針づくり」	2024年6月29日	函館市縄文文化交流センター	12人	鹿角を用いた釣り針を製作し、縄文時代の漁労の道具について学ぶ講座。
埼玉イオンレイクタウンmori「北海道フェア」出展	2024年7月2日～7日, 9月25日～10月1日	函館市経済部	—	イオンレイクタウンmoriで開催された「北海道フェア」にて、縄文PRブースを設置し、缶バッジやクリアファイル等のノベルティを配布。
夏休み自由研究「黒曜石で石器をつくろう」	2024年8月1日	市立函館博物館	15人	旧石器人・縄文人と同じ方法で石器を作り、当時の生活用具加工術や狩猟について学ぶ講座。
縄文体験講座「縄文時代の住居を学ぶ(竪穴住居ジオラマづくり)」	2024年8月3日	函館市縄文文化交流センター	8人	竪穴住居のジオラマ(骨組復元住居)の製作を通して、縄文人の暮らしについて学ぶ講座。
夏休み自由研究「鹿の角で縄文時代の釣り針をつくろう」	2024年8月6日	市立函館博物館	12人	鹿角を使って、縄文時代に使われた釣り針を製作。
第7回縄文絵画コンクール	2024年8月23日～9月3日	北海道新聞函館支社(主催), 函館市, 函館市教育委員会, 北海道渡島総合振興局(共催)	153人	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録3周年を記念し、児童生徒を対象にした絵画コンクールを開催。
縄文体験講座「夏の縄文染め」	2024年8月24日	函館市縄文文化交流センター	9人	サルナシの葉や茎を煮出した染液を用い、草木染めを体験する講座。
函館検定合格者の会ともえ塾「道南の縄文文化」	2024年8月30日	市立函館博物館	26人	「はこだて検定」受験者を対象とした受験対策講義として「道南の縄文文化」について説明。

縄文体験講座「縄文土器づくり」	2024年9月7日・8日	函館市縄文文化交流センター	12人	函館市内の縄文遺跡から出土した縄文土器を見本に土器を製作する講座。
出前講座 世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」	2024年9月24日	函館市企画部	15人	函館消費者協会（函館消費者大学）より依頼を受け、文化財課職員が講師として講演。
第7回縄文絵画コンクール表彰式および展示	2024年10月5日～18日	北海道新聞函館支社（主催）、函館市、函館市教育委員会、北海道渡島総合振興局（共催）	—	津軽海峡フェリー函館フェリーターミナルにて、8～9月に行った絵画コンクールにおける受賞者の表彰式を行うとともに、入賞・入選作品の展示を実施。
「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録3周年記念 はこだて縄文まつり2024 in垣ノ島	2024年10月6日	南かやべ縄文まつり実行委員会（主催）、函館市教育委員会（共催）、函館市ほか（後援）	1100人	世界遺産登録3周年を記念し、垣ノ島遺跡を会場に、ステージイベントや縄文体験、物販等を実施した。あわせて、世界遺産を巡るスタンプラリーを実施し、大船遺跡への来訪も図った。
縄文体験講座「中空土偶（レプリカ）をだっこしてみよう」	2024年10月6日	函館市縄文文化交流センター	96人	中空土偶のレプリカに実際に触れる体験を通じて、土偶制作の技術の高さを実感してもらおうイベント。
出前講座 世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」	2024年10月24日	函館市企画部	30人	日吉町在宅福祉委員会より依頼を受け、文化財課職員が講師として講演。
縄文体験講座「黒曜石の石鏃づくり」	2024年11月9日	函館市縄文文化交流センター	10人	黒曜石を削って石鏃を製作することで、縄文時代の狩猟や石器の製作技術について学ぶ講座。
函館コレクション2024	2024年12月1日	函館市女性会議（主催）、函館市（共催）	—	市役所で開催されたユニバーサルファッションショーの会場内において、縄文PRブースを設置し、缶バッジやクリアファイル、リーフレット等のノベルティを配布。
縄文文化特別研究成果発表展示	2024年12月13日～3月31日	函館市縄文文化交流センター	—	縄文文化交流センターの特別研究の成果に係るミニ企画展。
学芸員こぼれ話①「縄文時代の生活・文化あれこれ」	2024年12月15日	市立函館博物館	9人	縄文時代の人々の生活や精神文化について、函館の遺跡を中心とした講演を実施。
冬休み限定縄文体験学習「縄文体験・土器づくり」	2025年1月11日・12日	函館市縄文文化交流センター	15人	ラミネートした土偶の写真に合わせて粘土を貼り付け、板状の土偶を製作する講座。
縄文体験講座「チョコレートで石器づくり」	2025年2月8日	函館市縄文文化交流センター	5人	本物の石器から型を取ったチョコ型を用いて石器型のチョコレートを作り、縄文時代の道具について学ぶ講座。
春休み期間限定「縄文世界遺産クイズラリー」	2025年3月20日～30日	函館市縄文文化交流センター	342人	展示室の展示やパネルから、世界遺産や縄文に関する問題の答えを探すクイズラリーを実施。

表16 パンフレットやホームページによる情報提供
【パンフレット等】

名称	作成(改訂)主体	規格・頁数	発行部数	言語	概要
函館市縄文遺跡群案内用フライヤー	函館市教育委員会	210×100mm・両面	10,000枚	英語	函館市内の公共施設に設置し、遺跡への来訪を促すためのフライヤー。
函館市縄文遺跡群案内用フライヤー	函館市教育委員会	210×100mm・両面	5,000枚	中国語(簡体字)	函館市内の公共施設に設置し、遺跡への来訪を促すためのフライヤー。
函館市縄文遺跡群案内用フライヤー	函館市教育委員会	210×100mm・両面	5,000枚	中国語(繁体字)	函館市内の公共施設に設置し、遺跡への来訪を促すためのフライヤー。
函館市縄文遺跡群案内用フライヤー	函館市教育委員会	210×100mm・両面	3,000枚	韓国語	函館市内の公共施設に設置し、遺跡への来訪を促すためのフライヤー。
史跡垣ノ島遺跡・史跡大船遺跡両面リーフレット	函館市教育委員会	A4両面4色刷り・三つ折り	1,000部	英語	垣ノ島遺跡および大船遺跡に来訪した人に配布する両面リーフレット。
史跡垣ノ島遺跡・史跡大船遺跡両面リーフレット	函館市教育委員会	A4両面4色刷り・三つ折り	1,000部	中国語(簡体字)	垣ノ島遺跡および大船遺跡に来訪した人に配布する両面リーフレット。
史跡垣ノ島遺跡・史跡大船遺跡両面リーフレット	函館市教育委員会	A4両面4色刷り・三つ折り	1,000部	中国語(繁体字)	垣ノ島遺跡および大船遺跡に来訪した人に配布する両面リーフレット。
史跡垣ノ島遺跡・史跡大船遺跡両面リーフレット	函館市教育委員会	A4両面4色刷り・三つ折り	1,000部	韓国語	垣ノ島遺跡および大船遺跡に来訪した人に配布する両面リーフレット。

【ホームページ】

名称	運営主体	概要	アドレス	言語	更新回数	アクセス数
世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」	函館市教育委員会	函館市の「北海道・北東北の縄文遺跡群」を紹介するトップページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2017122200063/	日本語	0	3,947
【世界遺産】縄文文化と「北海道・北東北の縄文遺跡群」	函館市教育委員会	函館の縄文文化と世界遺産の概要を紹介するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2017122200100/	日本語	1	2,258
【世界遺産】函館市の構成資産 史跡垣ノ島遺跡	函館市教育委員会	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産である史跡垣ノ島遺跡を紹介するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2022012400119/	日本語	1	3,076
【世界遺産】縄文関係刊行物(パンフレット・ポスター等)	函館市教育委員会	函館市の縄文関連刊行物を紹介するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2020060200033/	日本語	1	288
【世界遺産】縄文遺跡群の世界文化遺産登録による効果促進施策のあり方	函館市教育委員会	世界文化遺産登録による効果を最大化することを目的に策定した「あり方」を紹介するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2020070100071/	日本語	0	32
函館市縄文文化交流センター	函館市教育委員会	縄文文化交流センターの施設案内に関するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014021000060/	日本語	0	1,290
縄文文化特別研究の公募	函館市教育委員会	縄文文化特別研究の公募内容に関する広報のページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014101600036/	日本語	0	21

函館市縄文遺跡群保存活用協議会	函館市教育委員会	函館市縄文遺跡群保存活用協議会の概要を紹介するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2019090300059/	日本語	3	321
縄文紙芝居の貸出について	函館市教育委員会	縄文文化を紹介する子供向け紙芝居の貸出に関する広報のページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2019120200038/	日本語	0	48
「はこだて縄文学習デジタルブック」について	函館市教育委員会	タブレット端末等で利用可能なウェブコンテンツのページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2023042000027/	日本語	0	218
JOMON WEEK IN SUMMER 2024 「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録3周年記念企画について	函館市教育委員会	世界遺産登録3周年記念事業として行った企画について周知するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2024071700032/	日本語	1	350
【終了しました】「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録3周年記念企画について	函館市教育委員会	世界遺産登録3周年記念事業として行ったパネル展示について周知するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2024061700097/	日本語	1	259
世界遺産登録3周年記念 はこだて縄文まつり2024 in 垣ノ島	函館市教育委員会	世界遺産登録3周年記念事業として行ったイベントについて周知するページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2024092700035/	日本語	1	453
縄文遺跡	函館市南茅部支所	南茅部地域の縄文文化を紹介するトップページ。	https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2020012800083/	日本語	0	407
函館市縄文文化交流センター	函館市縄文文化交流センター	縄文文化交流センターの事業内容や開館状況に関するページ。	http://www.hjcc.jp/	日本語 英語	36	18,901
函館市縄文文化交流センターX (旧Twitter)	函館市縄文文化交流センター	函館市縄文文化交流センター公式アカウント。センターに関するイベントや、縄文・地域に関する様々な情報を発信。	https://twitter.com/hako_mai	日本語	53	85,080

表17 資産に関する地域住民、民間団体の活動

名称	開催日	事業主体	参加者数	概要
万年橋小学校縄文授業	2024年4月9日	縄文DOHNANプロジェクト	30人	函館市立万年橋小学校において、小学3年生を対象に、縄文紙芝居やクイズ等を実施。
北海道空港協会通常総会 講演	2024年5月16日	北海道空港協会	28人	縄文遺跡に関する講師派遣の依頼を受け、文化財課職員が講師として講演。
縄文遺跡群世界遺産の価値と活用について講話会	2024年6月12日	道南縄文文化推進協議会（函館商工会議所）	26人	道南縄文文化推進協議会総会時に、会員を対象とした講話会を開催。
ミニ石斧づくり	2024年6月22日	北の縄文CLUB	7人	南茅部総合センターにて、ミニ石斧を製作する体験会を実施。
どうなんJ OMON発見！ in函館蔦屋書店	2024年8月4日	縄文DOHNANプロジェクト	40人	じょうもんかるた大会やじょうもんワークショップ、グッズ販売などを実施。
土器づくり	2024年8月24日	北の縄文CLUB	12人	南茅部総合センターにて、土器を製作する体験会を実施。
エントランス展示	2024年8月30日～2025年3月31日	函館市立南茅部中学校	-	地元にある縄文遺跡への興味関心の向上および理解促進を図るため、校舎1階エントランスに垣ノ島遺跡および大船遺跡の出土遺物を展示。
青函交流フェスタ in金森赤レンガ倉庫	2024年9月14日～16日	縄文DOHNANプロジェクト	100人	じょうもんワークショップ、縄文パネル展示などを実施。
秋季植樹事業	2024年10月26日	南かやべ森と海の会	36人	史跡垣ノ島遺跡にヤマグリを20本寄附・植樹。
青森・道南縄文産直市 in大宮駅	2024年11月9日・10日	縄文DOHNANプロジェクト	-	じょうもんワークショップ、縄文パネル展示などを実施。
縄文遺跡講話	2024年11月15日	木古内町立木古内中学校	23人	縄文遺跡に関する講師派遣の依頼を受け、文化財課職員が講師として講演。
縄文学習～縄文遺跡PRプロジェクト～	2024年11月19日	函館市立南茅部中学校	82人	総合的な学習の時間の一環として、縄文遺跡に関する講師派遣の依頼を受け、文化財課職員が講師として講演。
J OMONで楽しむ和菓子体験	2024年11月30日	縄文DOHNANプロジェクト	10人	縄文とクリをテーマにした和菓子をつくるイベントを開催。
縄文かるた大会	2025年3月16日	縄文DOHNANプロジェクト	50人	子どもから読み句を募集して製作したかるたで遊ぶかるた大会を開催。
縄文関係グッズ配布	2025年3月27日	縄文DOHNANプロジェクト	3人	渡島・檜山の新小学1年生に向けて、ご当地カッターを掲載したクリアファイル約2,400枚を配布。

表18 構成資産の保護に関する団体等

【管理団体等の概要】

名称	所有者／管理者	従事者、従業員数	団体の概要
函館市	史跡垣ノ島遺跡の所有者・管理者	【資産管理保全に係る従事者数】 所属長1名，専門職員2名，行政職員3名	教育委員会生涯学習部文化財課が資産の保全管理を所管している。

【構成資産の保存活用に関わる団体の概要】

名称	団体の種別	会員数	設立年月	団体の概要
一般財団法人道南歴史文化振興財団	一般財団法人	35名	2016年4月	ガイダンス施設である函館市縄文文化交流センターの指定管理者であり，構成資産である垣ノ島遺跡・大船遺跡の管理委託者。市内の発掘調査の調査実施者でもある。
北の縄文CLUB	任意団体	38名	1998年4月	土器や勾玉等の製作や遺跡清掃等の活動を通じ，縄文文化の普及啓発を行っている。2017年度北海道地域文化選奨受賞。2021年函館市市民貢献賞（教育文化功労）受賞。
道南縄文文化推進協議会	任意団体	1215法人 （正会員58・賛助会員 1157）	2013年8月	2市1町の商工会議所・商工会で組織する「函館・北斗・七飯経済団体協議会」を母体としており，縄文文化の普及啓発に係るイベント開催やグッズ製作のほか，駅前ビルへの横断幕設置等も実施している。
縄文DOHNANプロジェクト	任意団体	36名	2019年7月	土偶モチーフのキャラクターを使用したグッズの開発・販売や市内の公立小学校への寄贈，地元企業とのコラボレーション企画，イベント開催等，縄文を活用した活動を行っている。